



## 令和3年 県政おもなできごと(諏訪地域)について

令和3年を振り返り、諏訪地域の主なできごとをまとめました。

### ○新型コロナウイルス感染症への対応

昨年から引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための取組を行う中で、諏訪圏域においては、4月から急激に感染が拡大しました。

極めて深刻な状況の中、保健福祉事務所と管内県機関が連携し、「受診・相談センター」での24時間体制の相談受付をはじめ、感染者が発生した場合には疫学調査等により更なる感染拡大防止に取り組むとともに、日々の健康観察等により、患者やその家族等への支援を行いました。

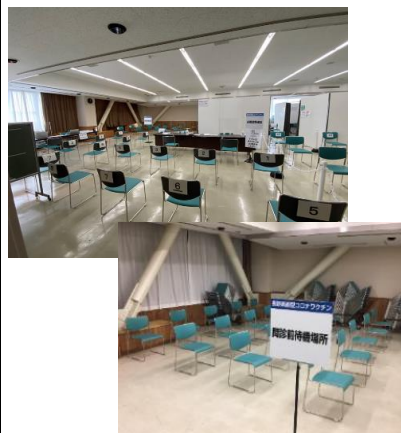
また、管内市町村の飲食店等に営業時間短縮等を要請し、ご協力いただいた事業者に対して協力金を支給しました。(4・5月及び8・9月)

#### 新型コロナウイルスワクチン医療従事者等優先接種実働訓練 《保健福祉事務所》



新型コロナウイルスワクチンの医療従事者等に対する優先接種の実施に先立ち、3月6日(土)に、ワクチンの品質管理、移送、接種体制について諏訪圏域で標準化した手順に基づく訓練を実施しました。基本型接種施設(4病院)、連携型接種施設(5病院)、管内3医師会、市町村、県など延べ約100名の参加がありました。この日から、諏訪圏域のワクチン接種がスタートしました。

#### 県設置接種会場(諏訪合同庁舎)においてワクチン接種 《地域振興局・保健福祉事務所》



住民へのワクチン接種支援については、諏訪地域における県の接種会場の設置・運営を行い、9月から11月の開設期間において1,576名のワクチン接種が行われました。

2月

高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N8型）諏訪湖水から検出

【地域振興局】



2月19日諏訪湖から採取した試料（湖水）から高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N8型）が検出されました。野鳥緊急調査を実施し、その後も諏訪湖周及び流入・流出河川沿いの監視パトロールを実施し、衰弱個体の有無及び死亡個体の検査を行いました。幸いなことに高病原性ウイルス（H5N8型）が検出されなかったことから、3月16日（試料採取日から30日後）に野鳥監視重点区域は解除されました。

3月

竜神ため池（茅野市）改修工事が完了

【地域振興局】



令和元年12月に着工した茅野市豊平の竜神ため池の改修工事が完了しました。茅野市東部、八ヶ岳西麓の扇状地に位置し、40haの水田にかんがい用水を供給するための重要な水源ですが、堤体が脆弱化しており、災害の心配がありました。本工事によりため池の安全性を確保し、用水を安定して供給できるようになりました。

5月

霧ヶ峰で生物多様性等の保全活動を実施

【地域振興局】



新型コロナウイルス感染症の影響で一般のボランティアの参加が見込めない中、地権者と行政職員が中心となり、5月から10月にかけて、霧ヶ峰の生物多様性の保全・草原の再生を推進するため、シカなどの食害を防ぐ電気柵の設置、外来植物の駆除、優占植物の抑制などの様々な活動を実施しました。電気柵の内部では霧ヶ峰固有の植生の回復が見られました。

5月

ふるさと信州寄付金で動物舎を改修

【保健福祉事務所】



「ふるさと信州寄付金」制度による寄付金を活用し、保健所で保護等した犬猫を飼養するための動物舎を改修しました。犬に比べ猫の飼養頭数が増えていることから、犬用檻の一部を撤去し、猫の飼養場所を増設しました。今回の改修により、動物の飼養環境は更に改善され、管理もより適切に行うことができるようになりました。

7月

諏訪湖創生ビジョン推進会議によるヒシ除去の実施及び水草学習会の開催

【地域振興局】



諏訪湖における貧酸素化、底質環境の悪化、船の運航障害、景観の悪化等の問題に対応するため、7月1日から3日間、諏訪湖創生ビジョン推進会議の構成員が中心となり官民協働でヒシ(水草)の除去を実施しました。除去したヒシ約8トンは堆肥化し、地域で活用(循環)します。併せて、水草学習会を開催し、稚エビの放流体験を通じて水生生物について学び、諏訪湖への関心を高めました。



7月

諏訪湖周サイクリングロードの一般開放区間の延伸

【建設事務所】



諏訪市新川橋～六斗川橋の区間が開通していた諏訪湖周サイクリングロードについて、さらに六斗川橋～ヨットハーバーまでの約950mの区間が完成し、7月7日に一般開放しました。自転車試走の参加者からは「景色を楽しみながら気持ちよく走れた」等の感想をいただきました。

8月

令和3年8月の大雨により甚大な被害が発生

【地域振興局】  
【建設事務所】



停滞した前線の影響により、8月13日から諏訪地域においても記録的な大雨となり、住宅への浸水、道路の冠水等の被害がありました。更に8月15日には岡谷市川岸東で土石流により3名の尊い人命が奪われる等、甚大な被害が発生しました。

この大雨による災害は「激甚災害」に指定され、国の災害復旧事業等を活用して復旧を進めています。

8月

一級河川「砥川」の河川改修事業が完了

【建設事務所】



「脱ダム」宣言を発表してから20年が経過し、下諏訪ダムに代わる治水対策として、約15年の年月をかけ、医王渡橋から諏訪湖までの区間の護岸整備や堆積土除去を進め、河川改修が完了しました。これにより50年に1度の大雨に備えることができました。

9月

令和3年9月の大雨により、茅野市宮川高部地区で土石流災害が発生

【地域振興局】  
【建設事務所】



停滞した前線の影響により、9月5日、局地的に大雨となり、茅野市宮川高部地区の下馬沢川において土石流が発生し土砂が河川を埋め、あふれた水や土砂が道路や人家に流れ込むなど、多大な被害が発生しました。上流に砂防えん堤を構築する等、地域の安全確保のため、復旧に向け、準備を進めています。

10月

第49回衆議院議員総選挙の執行

【地域振興局】

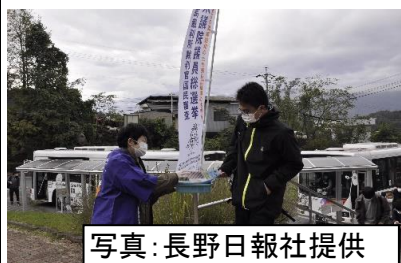


写真:長野日報社提供

第49回衆議院議員総選挙・第25回最高裁判所裁判官国民審査（選挙期日：10月31日）が執行されました。新型コロナウイルス感染症の拡大が心配される状況下ではありましたが、投票を呼び掛ける各種啓発活動を行い、諏訪6市町村全体の投票率は、58.96%となりました。

10月

「諏訪湖の日プロジェクト」の推進

【地域振興局】



10月1日の「諏訪湖の日」をPRする取組として新たに「諏訪湖の日ガイドブック」を発行したほか、10月3日にオンラインイベント「諏訪湖の日フォーラム」を今年初めて開催しました。諏訪湖の上流域から湖畔までを結び様々な取組を「Youtube」で配信し、多くの方が諏訪湖について考える機会となりました。

10月

再生可能エネルギー活用促進に向けた会議を開催

【地域振興局】



2050ゼロカーボンの実現に向け、再生可能エネルギーの一層の普及拡大のため、「令和3年度再生可能エネルギー諏訪地域連絡会議」を開催しました。会議では、「長野県ゼロカーボン戦略」の理解を深め、企業局や流域下水道事務所の具体的な取組などの情報共有とともに関係機関の連携・協働に向けた意見交換を行いました。また、管内の環境フェア等において、再生可能エネルギー活用に係る県の新たな補助制度の広報啓発を行いました。

12月

ハケ岳・霧ヶ峰の魅力を活かした地域づくりに向けた「タウンミーティング」を開催

【地域振興局】



「ハケ岳・霧ヶ峰の魅力を活かした地域づくり」をテーマに、住民、企業、団体、行政等が連携・協働して取組を進める機運を高めることを目指す「タウンミーティング」を初めて開催しました。活発な意見交換により、連携・協働のきっかけづくりの場とすることができました。いただいたご意見については、次期「長野県総合5か年計画」策定の参考にしたいと思えます。

信州版「新たな日常のすゝめ」

©長野県アルクマ



新型コロナウイルスの感染を防止するための行動を自ら考え実践しましょう

諏訪地域振興局総務管理課

(副局長) 早川政宏 (担当) 小島奈美子

電話：0266-57-2903 (直通)

FAX：0266-57-2904

E-mail: suwachi-somu@pref.nagano.lg.jp

諏訪保健福祉事務所総務課

(副所長) 増尾和久 (担当) 春日晃洋

電話：0266-57-2925 (直通)

FAX：0266-57-2953

E-mail: suwaho-somu@pref.nagano.lg.jp

諏訪建設事務所総務課

(次長) 石澤啓二 (担当) 神保明浩

電話：0266-57-2933 (直通)

FAX：0266-57-2946

E-mail: suwaken-somu@pref.nagano.lg.jp